

情報発信「アンテナ」(第20回)

「ダイレクトパークシステムと新たな取り組みの紹介」

相模石油株式会社

事業計画室 室長 井上 直也



【駐車場事業への参入経緯】

今でこそハイブリッド車やEV車があたりまえのように製造されていますが、相模石油株式会社が多角経営に舵を切り新規事業へチャレンジし始めたころは、まだまだ発展途上の技術でした。しかし、三代目社長小泉光一郎は「充電にかかる時間を想定すると、とてもSSで対応できるサービス内容とは思えない。EV時代の理想的な給電スポットは“駐車場である”」と予測、「直営SSでのガソリン供給は断念したが、自動車へのエネルギー供給は諦めない」とし、1997(平成9)年にパーキングステーション伊勢原を開設、同年にパーク24株式会社とエリア・フランチャイズ契約を締結し駐車場事業をスタートしました。

【日本初のゲートレス階層別料金システムのダイレクトパーク平塚西口】

当時の平塚駅前の違法駐車はひどい有様で道路の両側への違法駐車により夜になると通行できないほどであり「地域の人々のために何とかしなければ」との思いで立体駐車場の建設を決意、そして2000(平成12)年、JR平塚駅西口前の旧本社ビルを再開発し、9階建ゲートレス階層別料金システムによる自走式立体駐車場「ダイレクトパーク平塚西口」を竣工オープンすることができました。



当時、利用者から上層階は面倒だと敬遠されるので立体駐車場はなかなか成功しないと言わ

れており、どうすれば上層階から駐車してくれるのか。そこで考案したのが特許を取得した「ダイレクトパークシステム(ゲートレス・階層別料金システム)」、上層階に行けば行くほど料金を安くし、利便性の高い下層階は料金を高く設定する事で、上層階から駐車スペースが埋まり出入口付近での渋滞もなく、平塚駅前の渋滞も解消することができました。またライトカードによる会員システムを導入、来場ポイントや会員ランクアップ機能など顧客の囲い込みも図りました。

立体駐車場の課題を解決したこのダイレクトパークシステムは2001(平成13)年に平塚市工業技術等振興賞を受賞、さらに2005(平成17)年に財団法人駐車場整備推進機構(会長 豊田章一郎)より第2回日本ベストパーキング賞特別賞を受賞する事ができました。

【最新のダイレクトパークシステムを採用、ダイレクトパーク横浜元町中華街】

ダイレクトパークシステムは立体駐車場の各車室ごとに検知管理端末とフラップ板を設置するため、設備投資費用がどうしても高額になってしまうという課題がありました。そこで各車室にフラップ板を設置しないフラップレスへとシステムリニューアルを行い2018(平成30)年にダイレクトパーク横浜元町中華街をオープンいたしました。



これからもダイレクトパークシステムを通して立体駐車場オーナー様の課題解決をサポートしてまいります。

【新たなる挑戦】

2018(平成30)年に四代目社長に就任した小泉光哉は2020年頃から駐車場事業のDXについて構想していました。その中で駐車場検索アプリが普及してきており着目していましたが、大手旅行代理店や宿泊施設検索など他業界のポータルサイト同様に、そのほとんどがIT企業・携帯キャリア・外資系企業にデータが残る仕組みとなっており、この仕組みでは駐車場事業者はデータを保有できず、業界内で活用する事すらできなくなる、という気づきを得ました。その気づきから駐車場事業のデータは事業者自らが保有し業界の発展に寄与しなければならないという思いに至り、駐車場事業者自らが駐車場事業者の為のデータを収集し駐車場事業者に提供するプロジェクトとして、パーキングサイエンス株式会社を新たに設立いたしました。

【パーキングサイエンス株式会社のビジョン】

ビジョンは「UPDATE PARKING」、駐車場事業をアップデートし業界に貢献する事です。

駐車場事業は良く三方良しといわれますが、地主様・不動産会社様・事業者様・利用者様・住民の方・店舗様・警察消防・役所と、八方良しになり得るビジネスであると考えます。また、世界の中でも日本の駐車場ビジネスが一番進んでおり、その駐車場事業をさらにアップデートし、日本の駐車場ビジネスを世界の駐車場ビジネスにしたいという思いを込めています。

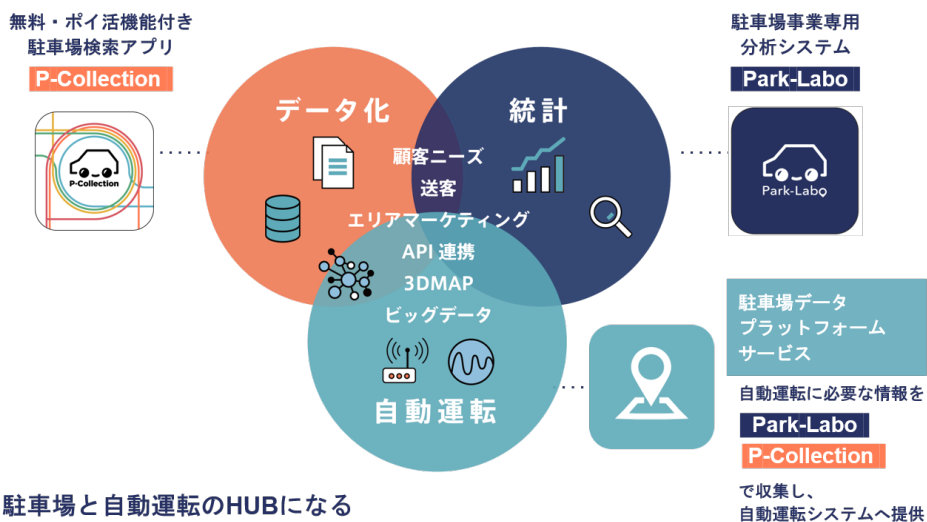


【課題解決】

前述した通り、既存ポータルサービスでは収集した情報を駐車場事業者が保有し活用する事ができないことが最大の課題です。そこで駐車場事業に必要な核心的情報を収集し、その情報を事業者へ循環還元する事業モデルを構築しました。

【3つの事業の概要】

「3事業のシナジーで新たな価値を生み出す」



3つの事業が相互に情報を補完し合い付加価値を高める構造になっています。ポイ活機能付き駐車場検索アプリ「P-Collection」でユーザーの検索ログ・移動ログを収集し、その情報を駐車場事業専用分析システム「Park-Labo」で分析・可視化する事で駐車場事業のDXを実現します。そして自動運転が実現する際には人間ではなく自動運転車が駐車場を検索する事を見越し、駐車場情報を自動運転システムへ提供するハブとなることを目指しています。

【ポイ活機能付き駐車場検索アプリP-Collection】

無料 駐車場検索アプリ P-Collection



iOS



Android

ダウンロードしてね!

PコレクションQ



Parking Science Co.,Ltd.

<https://www.parkingscience.net/>

ポイ活機能付き駐車場検索アプリP-Collectionは、弊社の強みを活かして全国の駐車場事業者から直接データ連携し集めた全国約13万件(業界トップシェア)の駐車場情報を地図上で検索、ランキング表示できるアプリケーションです。駐車場利用でポイントを付与するポイ活機能や、特許出願中の独自技術として「停めやすさ」という抽象的な判断基準を独自アルゴリズムで数値化することにもチャレンジしました。ユーザーの多様化するニーズにマッチした駐車場を提案し、駐車場選びの便益を提供します。

またユーザー情報や検索ログ、駐車後の位置情報を収集しPark-Laboへ共有する入口にもなっています。



iOS



Android



WEB サイト



【ポイ活機能について】

Park-Laboとご契約いただいた事業者様の運営する駐車場にP-Collectionユーザーが駐車した際に、ポイントを付与します。この機能によりユーザーへはお得感を、事業者様へはP-Collectionユーザーの送客を実現します。さらにユーザーへは動画リワードやオファーウォールでポイント付与も行ない、デイリーアクティブユーザー率を高める工夫も行なっています。

「停めて」「貯まる」ポイント獲得方法



駐車したら「駐車する」をクリックし、注意事項をご確認した後「OK」をクリック。

動画視聴のチケットを入手し、「今すぐ視聴」をクリックし動画を視聴。再度視聴する場合は「OK」、しない場合は「今はしない」をクリック、その後、獲得したポイントが表示されます。

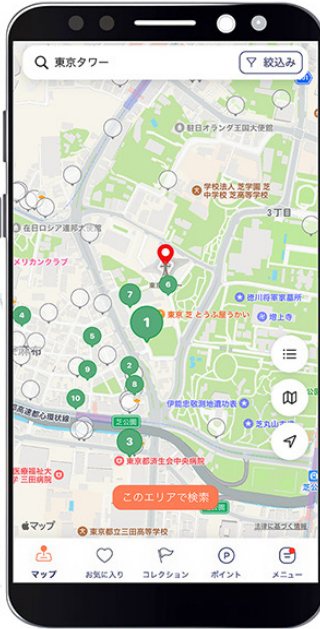
【停めやすさランキング機能について】※特許出願中

駐車場を探す際に重要視する条件は何でしょうか？安さ？目的地への近さ？人それぞれ違いますが、独特な言い回しとして「停めやすい駐車場に停めたい」というニーズが一定数存在します。ではこの「停めやすさ」とは何なのか？人によっては広い駐車場であること、またある人にとっては空いていることであったりとまさに十人十色です。独自アルゴリズムにより、ひとりひとりの好みによって変わる「停めやすさ」という指標の数値化に業界で初めてチャレンジをし、ユーザーへゆったりと停めやすい駐車場をランキング形式で提供する機能を実装しました。

独自アルゴリズム
停めやすい
 特許出願中



リストでランキングをチェック!



地図上でランキングをチェック!

● ピンの大きさで

駐車場の収容台数の多さを表示



気になる駐車場をタップすると
 駐車場詳細に推移

【駐車場事業専用マーケティングシステムPark-Labo】

Park-Labo
Park-Laboとは 4つのポイント 利用ステップ よくある質問
事業者ログイン
資料請求・お問い合わせ



駐車場事業専用 エリアマーケティング 分析システム



アナログ販促はもう古い



目的地を見ればすべてがわかる



24時間現調できますか?



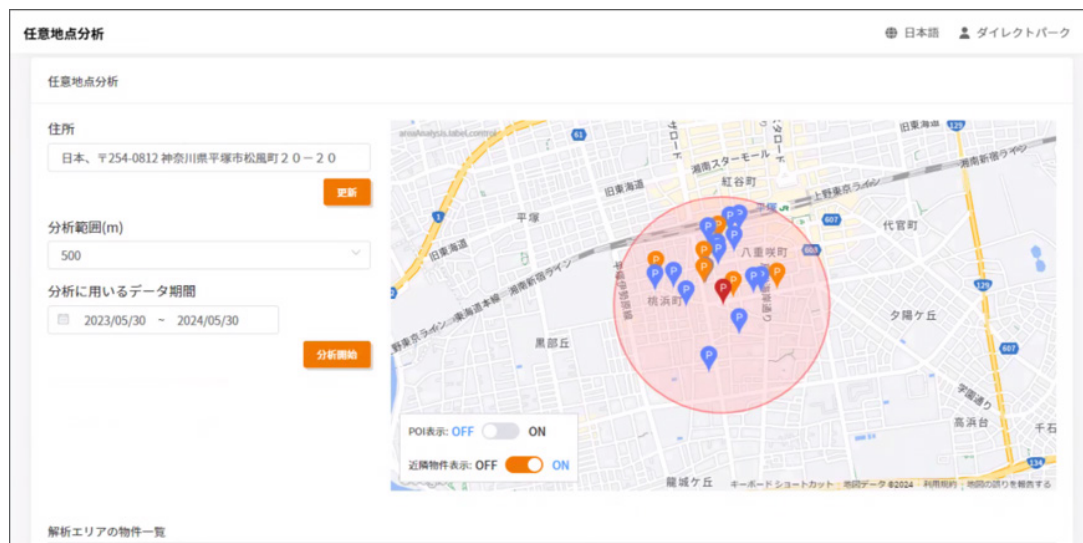
自動運転は駐まらない

まずはお気軽にご相談ください!

資料請求はこちらから (無料)



P-Collectionで収集した情報を駐車場事業者向けに分析・可視化する駐車場事業専用分析システムPark-Laboは、13万件の駐車場データ、エンドユーザーの検索履歴や位置情報を分析可視化し、ノウハウのデータ化・見える化を図ることで、新エリア調査、新規出店開発、オープン販促、料金改定など駐車場事業のDXを実現します。



※新規物件開発の際に利用する分析画面

【そして来る自動運転社会に向けて】

車は必ず駐車場から駐車場へ移動します。自動運転時代には人間ではなく車が駐車場を検索するはずで、そうなればインターネット上に駐車場情報を公開していなければ存在を認識されません。リアルタイムに更新される駐車場情報データベースが必ず必要となると考えます。そのため、ぜひP-Collectionを通じて駐車場情報を連携していただきたくお願い申し上げます。駐車場事業者の為のデータベースを構築し、事業者と自動運転システムを繋ぐハブになる事で業界の発展成長に寄与してまいります。

【お問い合わせ】

相模石油株式会社

担当者：井上 電話：0463-22-0201 メール：naoya.inoue@sagami-oil.co.jp